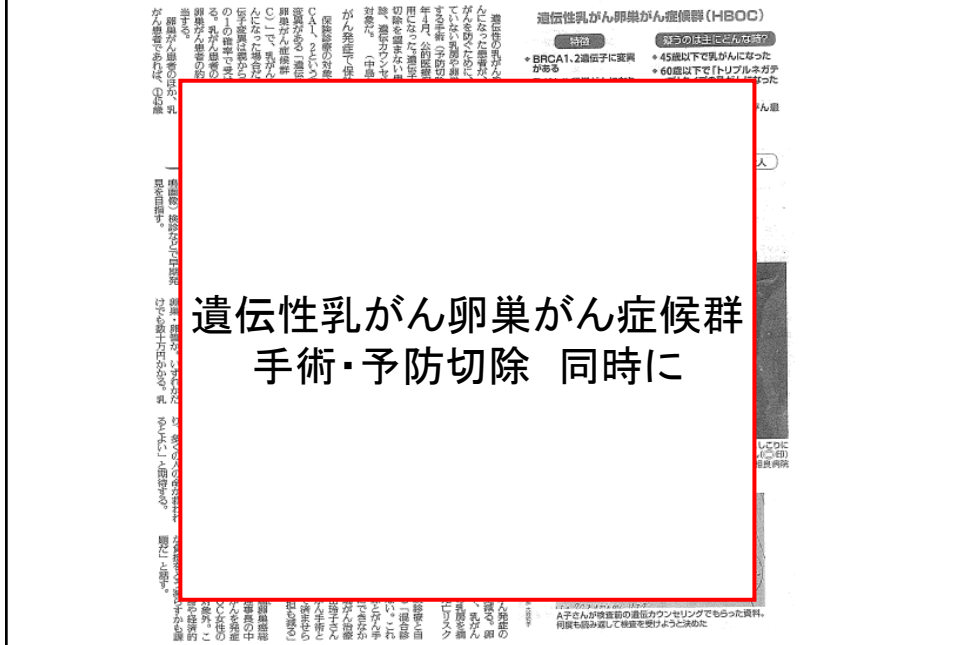
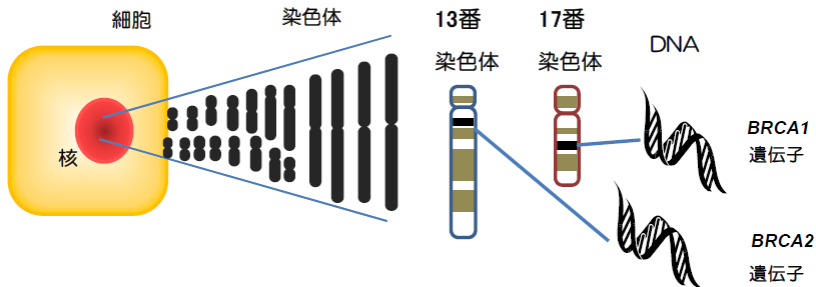


2020.05.23新聞記事(読売・夕刊)



遺伝子とは？

- 遺伝子は、人の体の「設計図」のようなものです。ヒトは22,000種類の遺伝子を持っていると言われていています。遺伝子には体を作るための情報や体の機能を維持するための情報が含まれています。遺伝子の情報は、基本的には人類でほとんど共通していますが、ひとりひとりで少しずつ違いがあることが特徴です。これを変異といいます。



遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC) をご理解いただくために ver. 4.1
 特定非営利活動法人日本 HBOC コンソーシアム (2019年6月改訂) より転載

がんの発症と遺伝の関係

- 2人に1人が生涯で一度はがんを発症するといわれています。
- 日本で、1年間で新たに乳がんと診断されるのは約94,800人、卵巣がんは13,400人です。(資料1)
- がんは様々な要因によって発生するといわれていますが、大きく分けて「環境要因」と「遺伝要因」が関わっています。

環境要因

たばこ、お酒、食べ物、ホルモン、感染など

遺伝要因

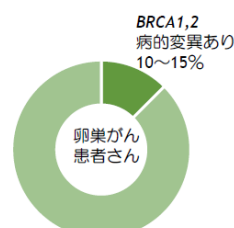
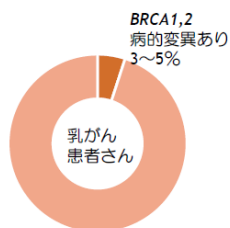
生まれた時から持っている遺伝子の変異

- 遺伝要因、すなわち生まれ持った「遺伝子の変異」ががんの発症しやすさと強く関わっていることを遺伝性のがん（遺伝性腫瘍）といいます。もともと持っている遺伝子の変異は、下の世代に受け継がれることがあります。
- 変異のある遺伝子の種類によって、がんの発症を起こしやすい部位（臓器）やがんの発症率は異なります。

遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC) をご理解いただくために ver. 4.1
特定非営利活動法人日本 HBOC コンソーシアム
(2019年6月改訂) より転載

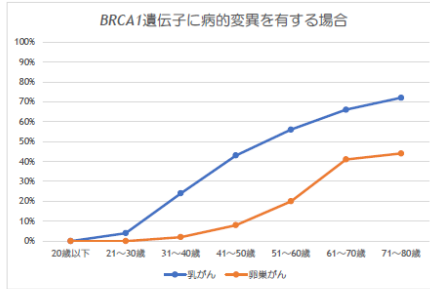
遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC) とは？

- 「遺伝性のがん」の種類の1つです。特定の遺伝子に生まれつき病的変異があることで、明らかにがんに罹患しやすいことを「遺伝性のがん」と総称します。
- HBOC ; Hereditary Breast and Ovarian Cancer syndrome と略称を使われることがあります。
- *BRCA1* 遺伝子あるいは *BRCA2* 遺伝子に病的変異を持っていることをここでは HBOC と表現します。乳がん、卵巣がん、前立腺がんなどの発症リスクが高いことがわかっています。
- がんの既往歴にかかわらず、一般的に、200～500人に1人が、HBOC に該当すると言われています。

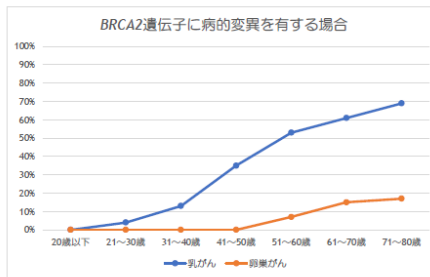


遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC) をご理解いただくために ver. 4.1
特定非営利活動法人日本 HBOC コンソーシアム (2019年6月改訂) より転載

BRCA1遺伝子とBRCA2遺伝子に病的変異がある場合の乳がんと卵巣がんの累積罹患率



(資料5を改変)

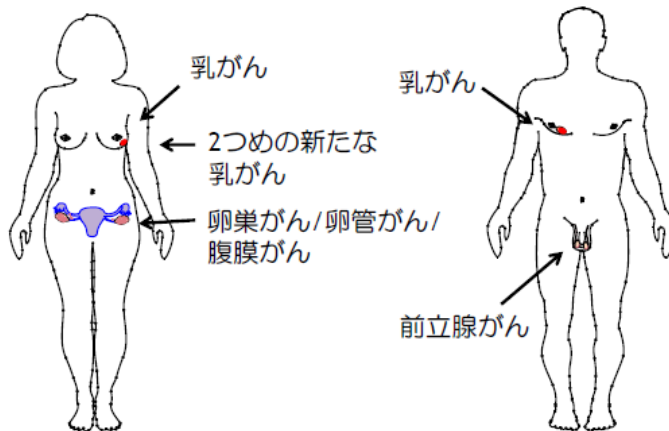


(資料5を改変)

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)をご理解いただくために ver. 4.1
 特定非営利活動法人日本 HBOC コンソーシアム(2019年6月改訂)
 より転載

HBOCと関連するがん

- BRCA1遺伝子あるいはBRCA2遺伝子に病的変異を有する場合、乳がん、卵巣がん、前立腺がんなどの発症率が高くなることがわかっています。



遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)をご理解いただくために ver. 4.1
 特定非営利活動法人日本 HBOC コンソーシアム(2019年6月改訂) より転載

2020.05.23新聞(読売・夕刊)

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)

特徴

- ◆ BRCA1, 2遺伝子に変異がある
- ◆ 乳がんや卵巣がんになりやすい
- ◆ 乳がん患者の約5%、卵巣がん患者の約15%に相当

疑うのは主にどんな時?

- ◆ 45歳以下で乳がんになった
- ◆ 60歳以下で「トリプルネガティブ」タイプの乳がんになった
- ◆ 卵巣がんになった
- ◆ 身内に乳がんや卵巣がん患者がいる

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)は、BRCA1, 2という遺伝子の変異が原因で起こる。乳がんや卵巣がんになりやすい。乳がん患者の約5%、卵巣がん患者の約15%に相当する。乳がんや卵巣がんの発症年齢が若くなる傾向がある。乳がんや卵巣がんの診断は、遺伝子検査による。乳がんや卵巣がんの予防は、遺伝子検査の結果に基づいて行う。乳がんや卵巣がんの手術は、遺伝子検査の結果に基づいて行う。乳がんや卵巣がんの手術は、遺伝子検査の結果に基づいて行う。

遺伝性乳がん卵巣がん症候群

診療の主な流れ

公的医療保険の対象・・・乳がんや卵巣がんを発症した人

遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)

特徴

- ◆ BRCA1, 2遺伝子に変異がある
- ◆ 乳がんや卵巣がんになりやすい
- ◆ 乳がん患者の約5%、卵巣がん患者の約15%に相当

疑う時は主にどんな時

- ◆ 45歳以下で乳がんになった
- ◆ 60歳以下で「トリプルネガティブ」タイプの乳がんになった
- ◆ 卵巣がんになった
- ◆ 身内に乳がん、卵巣がん患者がいる

乳がんや卵巣がんの発症年齢が若くなる傾向がある。乳がんや卵巣がんの診断は、遺伝子検査による。乳がんや卵巣がんの予防は、遺伝子検査の結果に基づいて行う。乳がんや卵巣がんの手術は、遺伝子検査の結果に基づいて行う。

2020.05.23新聞(読売・夕刊)

乳がんや卵巣がんの発症年齢が若くなる傾向がある。乳がんや卵巣がんの診断は、遺伝子検査による。乳がんや卵巣がんの予防は、遺伝子検査の結果に基づいて行う。乳がんや卵巣がんの手術は、遺伝子検査の結果に基づいて行う。

診療の流れ

公的医療保険の対象・・・乳がんや卵巣がんを発症した人

遺伝カウンセリング

遺伝子検査

HBOCの診断

予防切除

乳癌患者

対側乳房切除

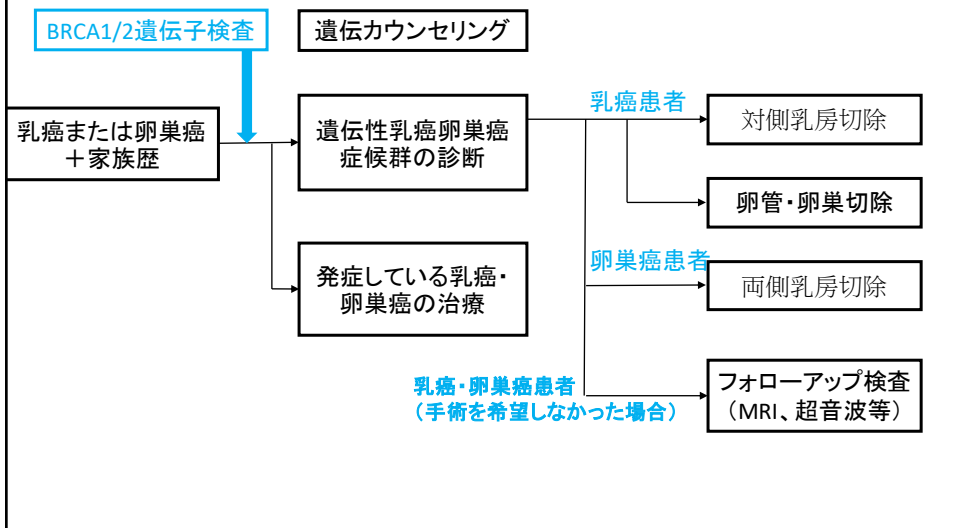
卵管・卵巣切除

卵巣癌患者

両側乳房切除

遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する治療等の評価

- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群の評価のイメージ



遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する治療等の評価

遺伝性乳癌卵巣癌症候群に係る検査の評価

- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群の症状である乳癌や卵巣・卵管癌を発症している患者におけるBRCA1/2遺伝子検査について評価を行う。

(新) BRCA1/2遺伝子検査血液を検体とするもの20,200点

[算定要件]

厚生労働省がん対策推進総合研究事業研究班作成の「[遺伝性乳癌卵巣癌症候群\(HBOC\)診療の手引き2017年版](#)」を参照すること。

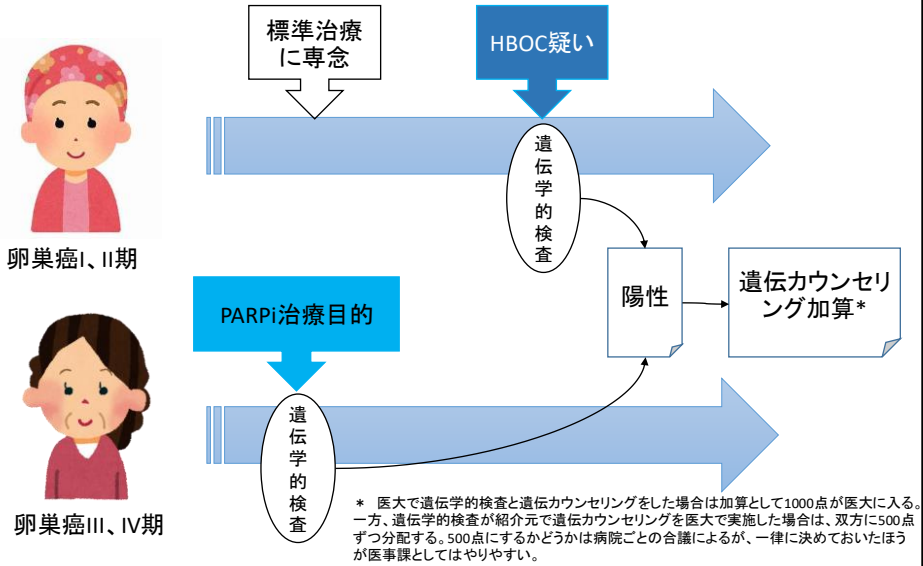
[施設基準]

[遺伝カウンセリング加算の施設基準](#)に係る届出を行っていること。

ただし、[遺伝カウンセリング加算の施設基準](#)に係る届出を行っている保険医療機関と連携体制をとっており、当該患者に対して遺伝カウンセリングを実施することが可能である場合は、この限りでない。

卵巣癌患者に対するBRCA遺伝学的検査と治療

HBOC診療体制（2020年4月以降）



2020.05.23新聞（読売・夕刊）

遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）

特徴

- BRCA1、2遺伝子に変異がある
- 45歳以下で乳がんになった
- 60歳以下で「トリプルネガティブ」タイプの乳がんになった
- 乳がんや卵巣がんになりやすい

「がんを発症していないHBOC女性の対策は、保険の対象外。こうした女性の心身や経済的な負担をどう減らすかも課題だ」と話す。

日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構理事長の中村清吾さんは「がんを発症していないHBOC女性の対策は、保険の対象外。こうした女性の心身や経済的な負担をどう減らすかも課題だ」と話す。